

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

学力向上検討委員会構成

北島北小学校  
「学力向上実行プラン」

- 言語活動の充実を図り、主体的・対話的な学習を創造する。
- 学び合いを深めるための、望ましい学習規律・学習習慣の確立を図る。

学力向上推進員	委員	校長	教頭	
	校長			
	教務主任(4年主任)			
	研修主任(3年主任)			1年主任
	2年主任			5年主任

校長

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○課題にまじめに取り組むことができる。 ○おおむね基礎的・基本的な知識・技能は身につけている。 ●個別指導の必要な児童が多い。	・基礎的・基本的な知識や技能を定着させ、必要な場面で活用することができる。	・小テストやプリントにより、基礎的・基本的な内容の充実を図る。 ・タブレットを活用するなどして、個人差に応じた支援をする。		・プリントを効果的に活用し、ほとんどの児童は、基礎的・基本的な内容を習得することができた。 ・スマイルネクストなどを使用、個人差に応じた学習をすることができた。	・学習の定着を一層図るため、随時、復習の機会を取り入れる。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを発表したり、友達の意見を認め、取り入れたりする。 ○意欲的にタブレットを活用できる。 ●多角的な見方はできるが、表現する力に差がある。	・相手や目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを豊かに表現できる。 ・他者の意見や取り出した情報を比較・関連付けたりしながら、自分の思いや考えを深めることができる。	・デジタル教材・ICT機器を積極的に活用し、話すことが苦手な児童の考えや思いも表現できるようにする。 ・めあての提示とまとめ、振り返りを行う。 ・学習の振り返りにおいて、決められた条件でノートにまとめたり、発表したりする。		・ほとんどの児童が、自分の意見を発表することができた。 ・めあての提示とまとめ、振り返りを行うことができた。 ・十分な振り返りの時間を確保することが、難しいこともあった。	・自己の考えを他者の意見や取り出した情報と比較・関連付けるとともに、しっかりと見直し、考えを深めさせる。 ・話型を示すなどして、振り返りの充実を図る。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○授業や家庭学習に意欲的に取り組むことができている。 ●自ら課題を見つけ、自主的に学習することができない児童もいる。	・自ら課題を見つけて、自主的に学習に取り組む、意欲的な態度で学ぶ楽しさや喜びを実感することができる。 ・家庭において、自主的に学習や読書を行うことができる。	・自主学習や読書活動に対して、自らの目標を決めることができるように推進する。 ・実生活に関わることを取り入れたり、体験活動を重視したりする。		・ほとんどの児童が、目標を立て取り組むことができた。 ・体験的な活動を積極的に取り入れることができた。	・学習内容や日々の活動への見通しを持たせ、自主的に学習できるような環境づくりをする。

令和6年度 学力向上ロードマップ

